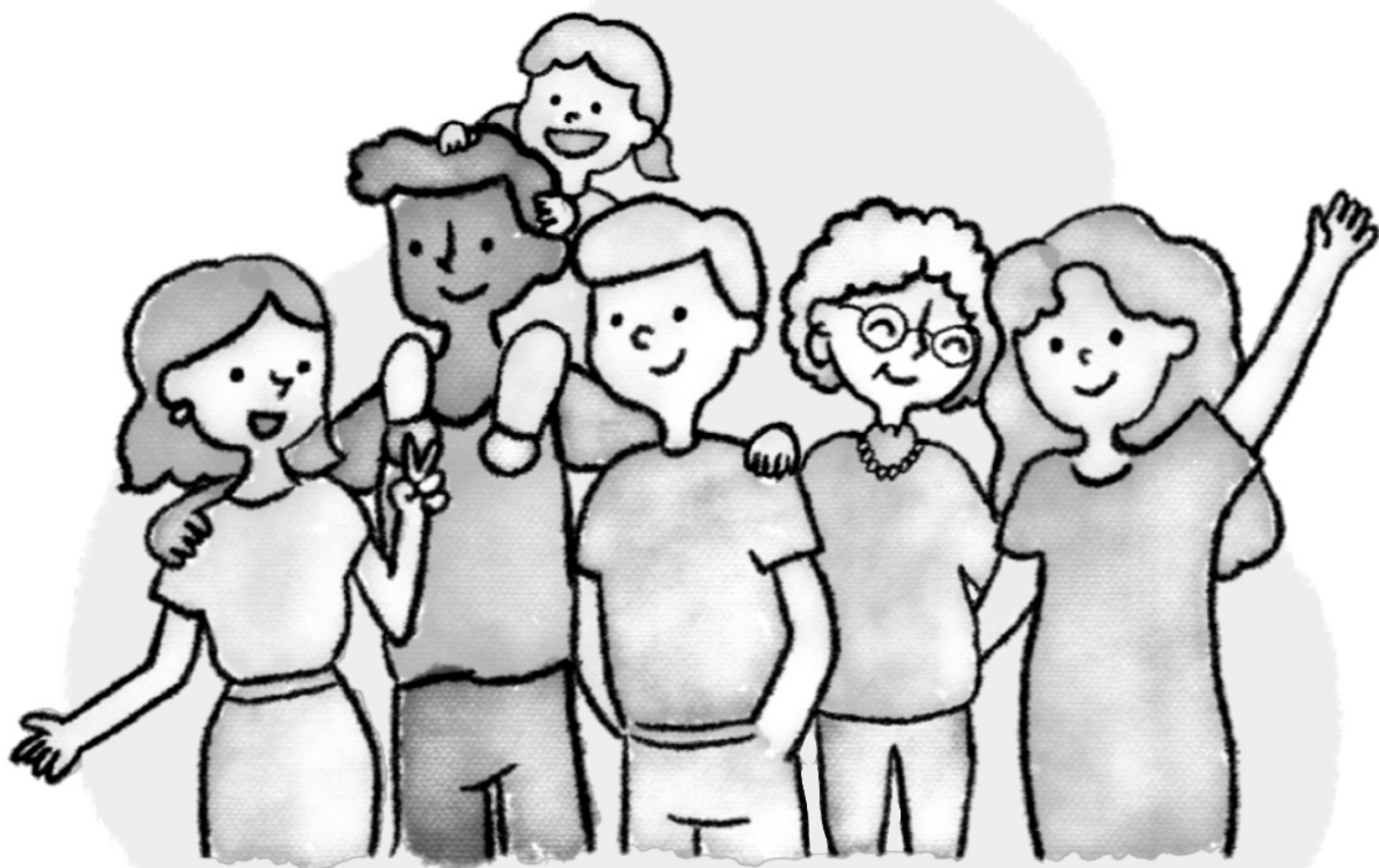


多文化共生 推進プラン



多様性を受け入れ、
支え合うリベラルな気風がまちに満ちている
2021～2025

豊岡市

目次

第1章 計画の策定

1	計画策定の趣旨	1
2	計画の位置づけ	1
3	計画期間	2

第2章 現状と課題

1	豊岡市の外国人市民の状況	3
2	これまでの取組みと課題	8

第3章 めざす姿と取組み方針

1	めざす姿	10
2	取組み方針	10

第4章 具体的な取組み

1	戦略体系図	12
2	ライフステージに沿った施策の実施	13
3	豊岡市多文化共生推進プランに基づく事業・指標	14

第5章 プランの推進に向けて

1	多文化共生推進主体の役割	18
2	関係機関等との連携・協働	19
3	市役所内での横断的な取組み	19

資料編

資料1	在留資格一覧表	21
資料2	豊岡市多文化共生推進プラン策定の経過	22
資料3	豊岡市多文化共生推進プラン策定にかかるワーキンググループ 構成員名簿	24
資料4	多文化共生推進にかかる庁内検討委員会	26
資料5	外国人住民に関する調査研究（神戸大学との共同研究）	26

「多文化共生」の定義

国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的ちがいを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくこと。

～総務省「多文化共生の推進に関する研究会報告書（2006年3月）」から～

「外国人市民」の定義

本プランにおいて、「第2章 現状と課題」の「1 豊岡市の外国人市民の状況」で用いる統計上の「外国人市民」は、国籍が日本以外の方を指しています。

一方、第2章以外で用いる「外国人市民」は、国籍が日本であっても、外国にルーツを持ち、言葉、生活習慣や文化等が日本と異なる方々も包括しています。



にほんご豊岡あいうえお クリスマス会

第1章 計画の策定

1 計画策定の趣旨

本市は、障がいの有無、性別、年齢差、国籍のちがい、価値観・文化・習慣のちがいなど、多様な人々から成っています。このような多様な人々が、地域社会や地域経済の担い手として期待され、現に活躍する、「多様性を受け入れ、支え合うリベラルなまちづくり」を進めています。

市の人口減少が著しい中で、近年の本市の外国籍市民は増加傾向（2021年3月末現在835人、5年で1.6倍）にあります。

このような中、外国人市民を貴重な人材、コミュニティの一員として受け入れて共生し、地域の活性化につなげていく必要があります。

多文化共生施策の推進は、「豊岡市のちへの共感に満ちたまちづくり条例」の趣旨に合致するとともに、日本人も外国人も共にちがいを認め合い、対等な関係を築くことのできる次世代の育成にもつながります。

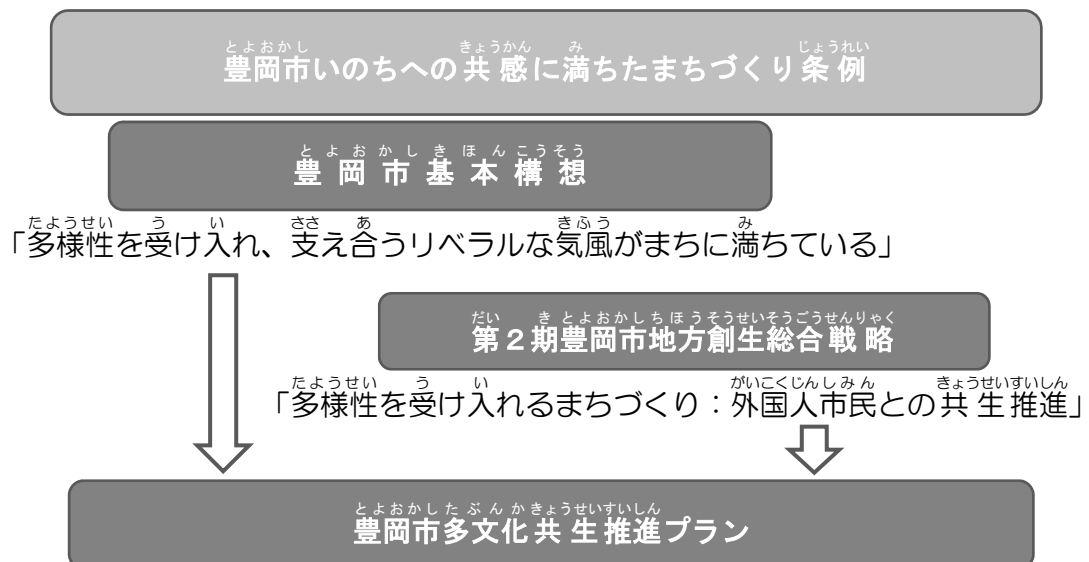
2019年度から実施している「外国人住民に関する調査研究」の結果も踏まえ、多文化共生推進プランを策定します。

2 計画の位置づけ

「豊岡市多文化共生推進プラン」は、今後の豊岡市における多文化共生施策の指針となります。

本計画は、「豊岡市のちへの共感に満ちたまちづくり条例」の理念のもと、「豊岡市基本構想」を上位計画として、各施策を具体的に実施するための個別計画として策定します。

なお、「第2期豊岡市地方創生総合戦略」の新たな視点にも、外国人市民との共生推進が位置づけられています。



3 計画期間

本計画の期間は、2021年度から 2025年度までの5年間とします。

	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029
基本構想												
市政経営方針												
地方創生 総合戦略												
多文化共生 推進プラン												

第2章 現状と課題

1 豊岡市の外国人市民の状況

(1) 外国人市民数・外国人比率

2021年3月末時点の外国人市民は835人で、市民全体（79,446人）の1.05%であり、人数・比率ともに増加傾向にあります。

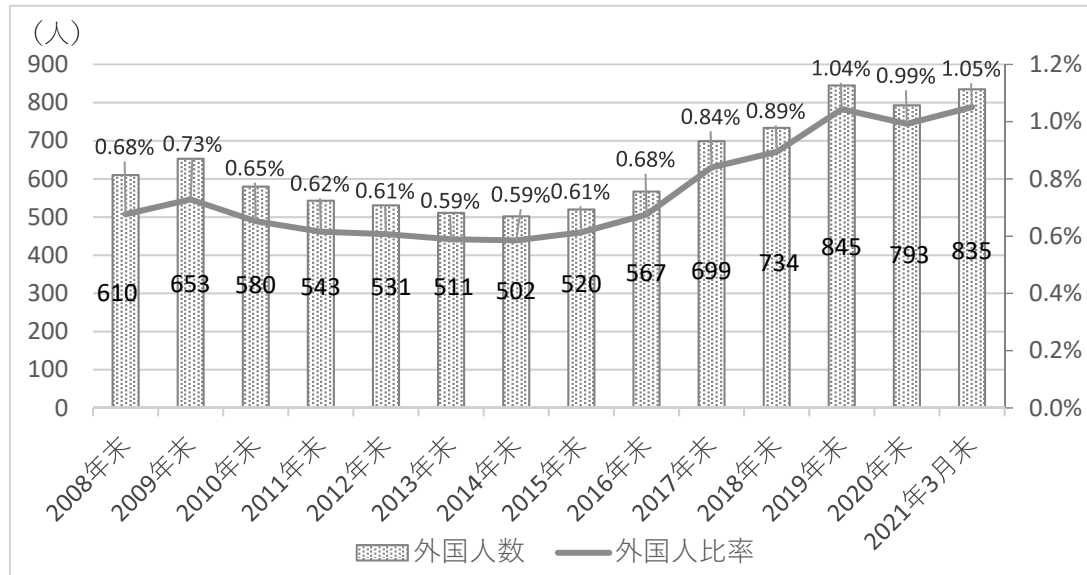


図1 外国人市民数・外国人比率の推移（住民基本台帳）

(2) 男女別年齢別

男女別にみると、男性が302人、女性が533人で女性が63.8%となっています。年齢別では20歳代が374人（44.8%）と最も多く、次に30歳代、40歳代が続いています。20歳代～40歳代の女性が、全体の52%を占めるのが特徴的です。

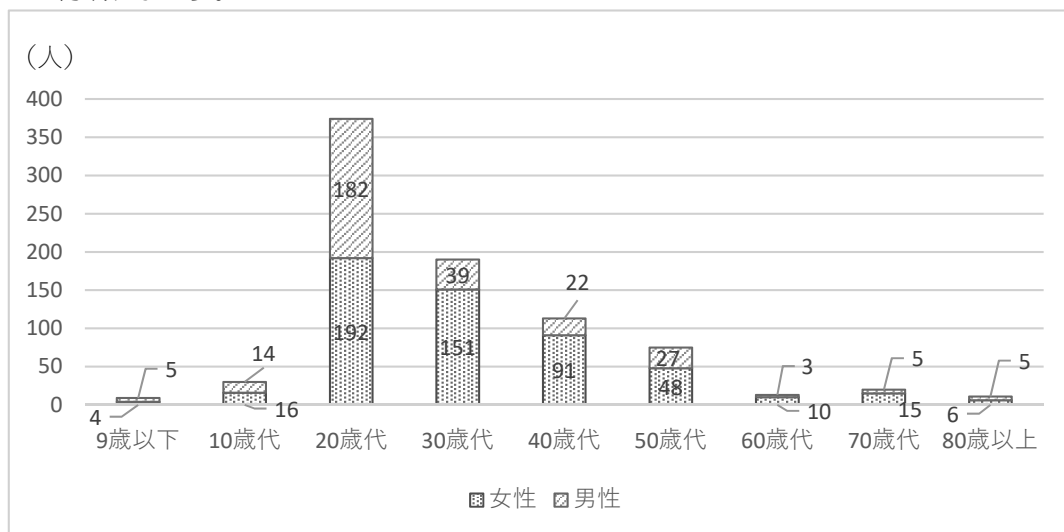


図2 男女別年齢別外国人市民数（住民基本台帳：2021年3月末）

(3) 国籍・地域別

26の国と地域出身の方が住んでいます。国籍・地域別にみると、ベトナム、フィリピン、中国の順で多く、最も多いベトナムは273人で、外国人市民数(835人)の32.7%を占めています(図3)。

外国人市民数上位5か国の推移をみると、中国及び韓国・朝鮮籍は近年緩やかに減少している一方で、ベトナム出身者の人数及び増加が顕著です(図4)。

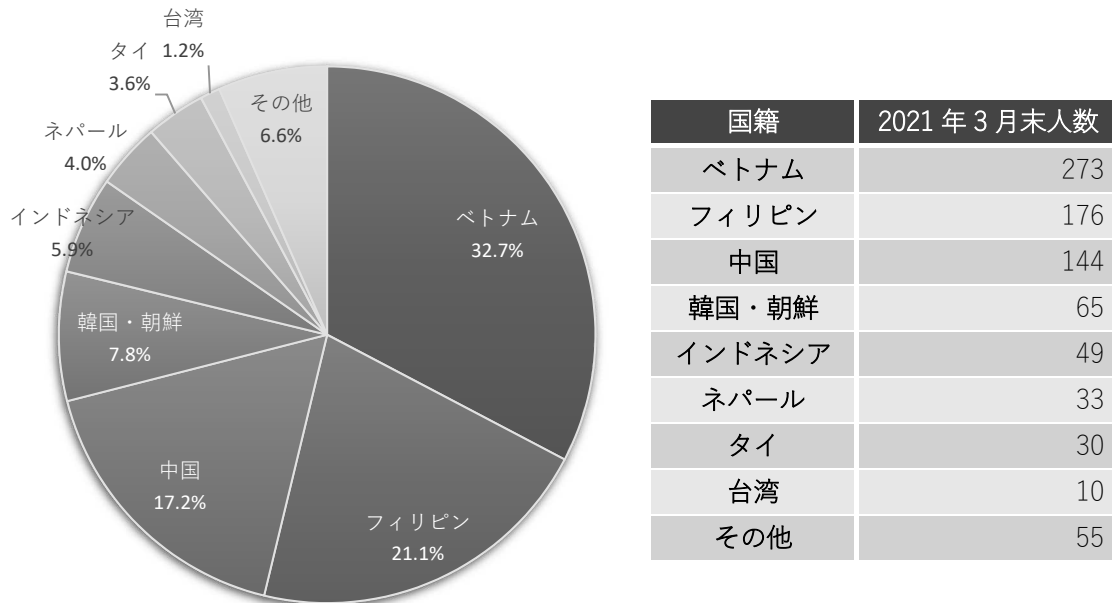


図3 外国人市民の国籍(住民基本台帳：2021年3月末)

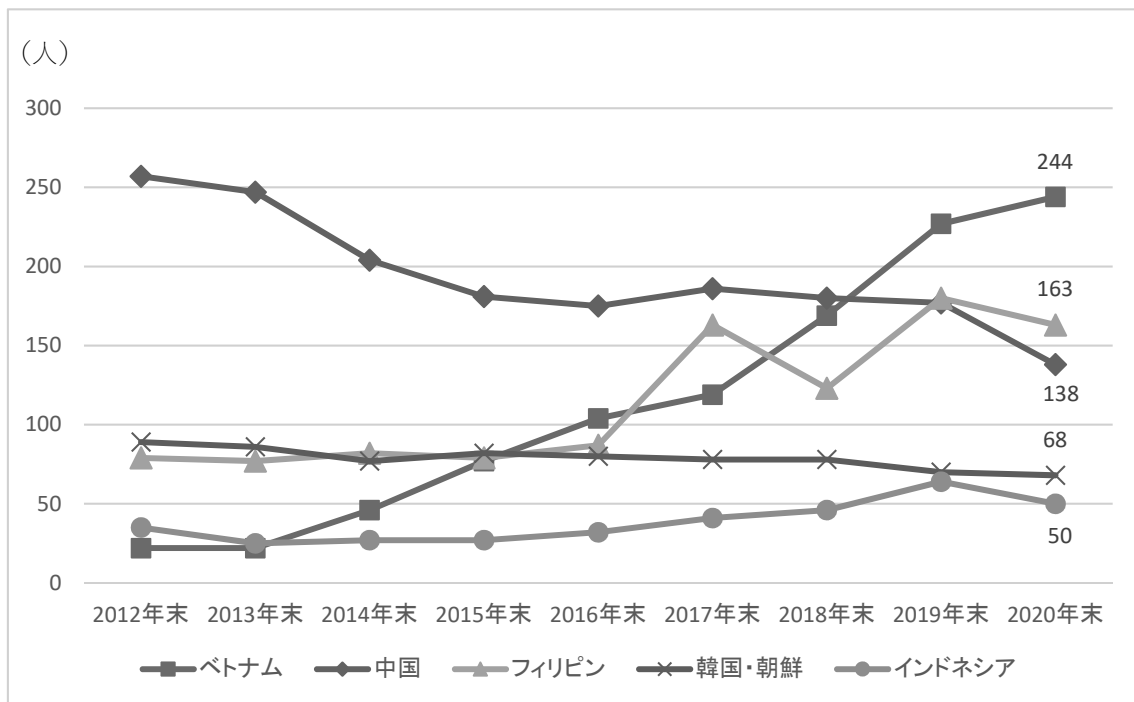


図4 外国人市民数上位5か国の推移(住民基本台帳) ※各年12月31日現在

(4) 在留資格別

在留資格別では、技能実習が38.2%と多く、次いで永住者、技術・人文知識・国際業務が続いています（図5）。

2016年との比較では、技術・人文知識・国際業務、留学、特定活動、定住者が増加しています（表1）。

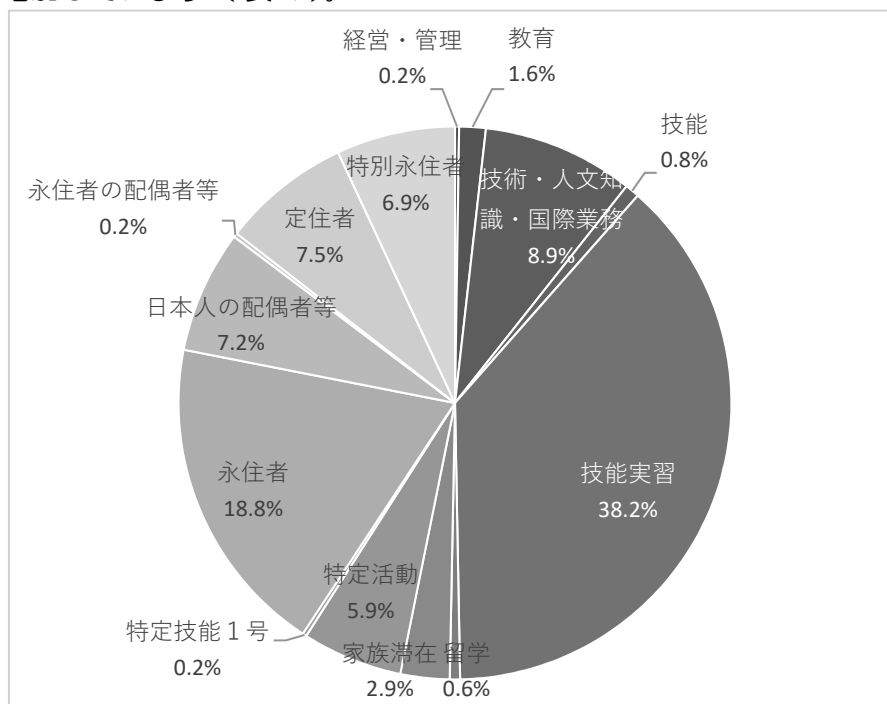


図5 外国人市民の在留資格（住民基本台帳：2021年3月末）

在留資格	2016年3月末人数	2021年3月末人数
経営・管理	0	2
教育	12	13
技術・人文知識・国際業務	5	74
技能	10	7
技能実習	205	319
留学	1	5
家族滞在	10	24
特定活動	10	49
特定技能1号	0	2
永住者	120	157
日本人の配偶者等	53	60
永住者の配偶者等	0	2
定住者	17	63
特別永住者	76	58
その他	5	0
合 計	524	835

表1 在留資格の比較（住民基本台帳：2016年3月末及び2021年3月末）

(5) 市内の居住状況

外国人市民の市内の居住状況をみると、地域別では外国人市民の過半数が豊岡地域に住んでいますが、地域別の外国人比率は、城崎（3.19%）、但東（1.98%）が多い状況です（図6）。

地区別でみると、五荘、城崎、日高、豊岡の順で多くなっています（図7）。

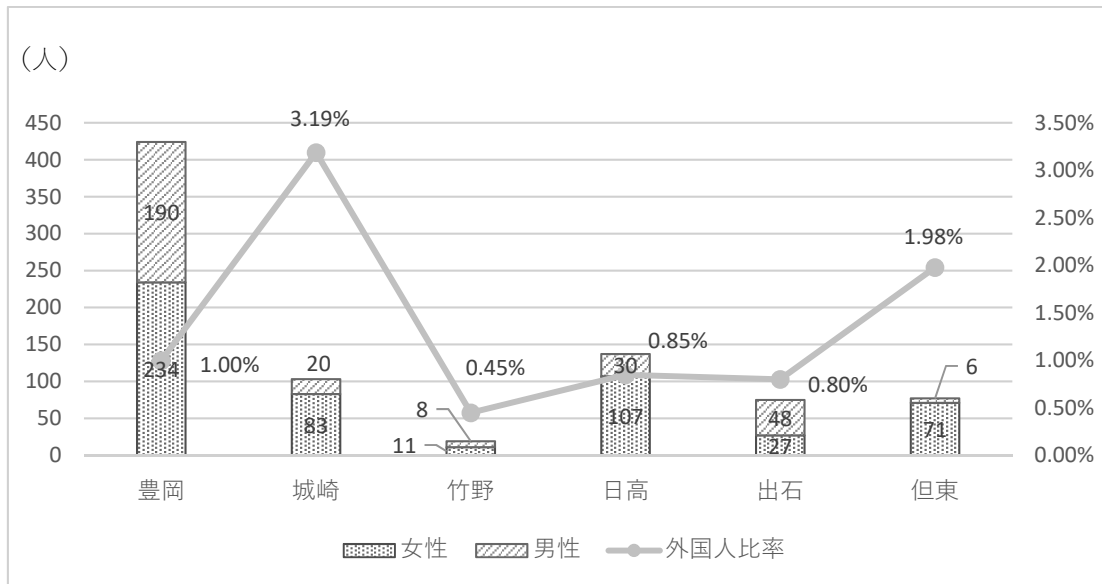


図6 地域別外国人市民数（住民基本台帳：2021年3月末）

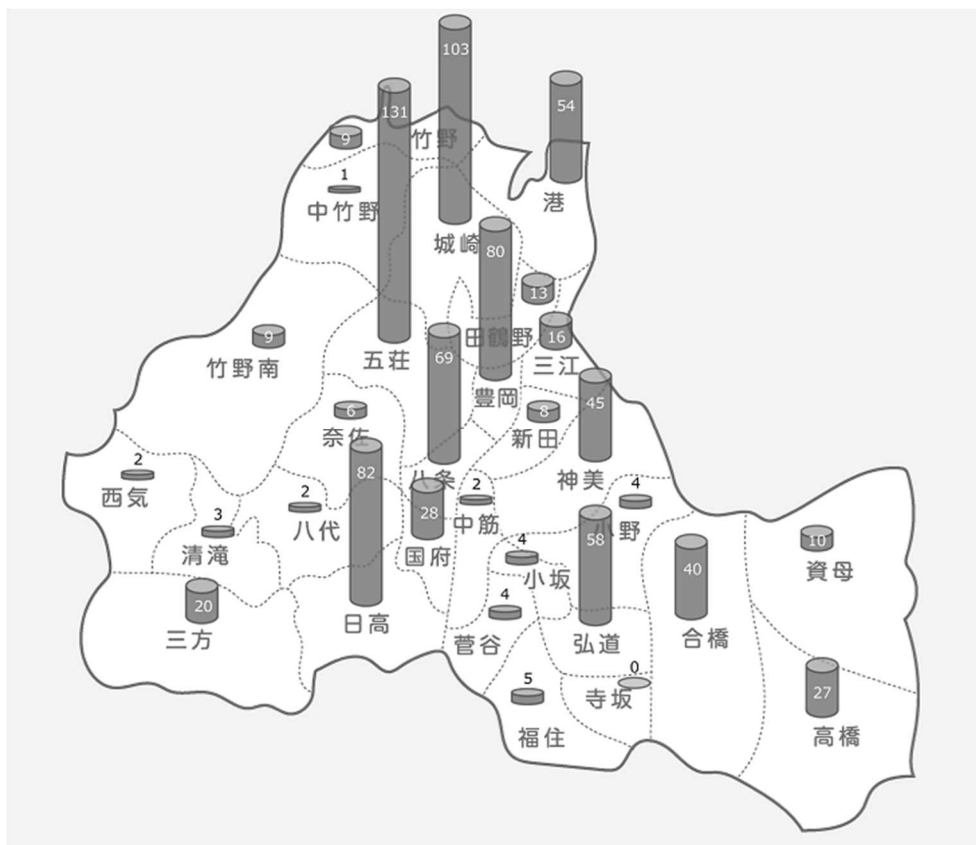


図7 地区別外国人市民数（住民基本台帳：2021年3月末）

(6) 外国にルーツを持つ子ども

外国にルーツを持つ子どもとは、親の両方あるいは一方が海外出身か外国籍である子どもです。日本国籍と外国籍を合わせると 163人で、同世代人口のおよそ 1%にあたります。

	就学前	小学生	中学生	16-18歳	合計
日本国籍	46人	46人	21人	24人	137人
外国籍	9人	4人	4人	9人	26人
計	55人	50人	25人	33人	163人

《日本国籍の子ども》

- ・親の国籍：フィリピン 61人、中国 28人、ベトナム 13人 など
- ・親の在留資格：永住者・日本人の配偶者等

《外国籍の子ども》

- ・本人の国籍：フィリピン 9人、中国 8人 など
 - ・本人の在留資格：家族滞在 10人、定住者 9人、永住者 6人など
- ※住民基本台帳：2021年6月末



とよおか 豊岡あいうえお 外国にルーツを持つ子どもの授業風景

2 これまでの取り組みと課題

本市ではこれまで体系的なプランは策定していませんでしたが、市及び外国人支援団体では、多文化共生推進のために様々な事業を実施してきました。

また、外国人市民が増加する中、2019年度から「外国人住民に関する調査研究」を進めています。その結果、外国人市民の現状と抱える課題が明らかになってきました。

(1) コミュニケーション支援

【取り組み】

NPO法人等民間の外国人支援団体が実施する日本語教室、受講者の日常生活相談受付等について、市が補助を行っています。

市役所の行政手続きにおいては、国際交流支援員を配置し、窓口での通訳業務等を行うとともに、2021年5月から、市役所窓口にタブレットを用いた多言語映像通訳や、多言語音声翻訳アプリを導入し、外国人市民に対応しています。

また、市の生活の基本事項をまとめたリビングガイドの多言語版（やさしい日本語、英語、中国語（簡体字）、中国語（繁体字）、タガログ語、ベトナム語、タイ語）や、やさしい日本語と英語を併記した防災ハンドブックを発行し、転入者や日本語教室の学習者等に配付しています。

【課題】

近年、本市で働く方、出産・子育てをする方、学齢期で来られる子ども等多様なニーズを持った人々が増えています。出産・子育て・教育・福祉・雇用等様々な相談にワンストップで対応できる一元的相談窓口の設置と、対応する通訳者・相談員の人材育成が課題となっています。

日本語及び豊岡の生活文化を学ぶ機会の充実、市役所書類の多言語化（やさしい日本語含む）等も進めていく必要があります。

(2) 生活支援

【取り組み】

母子保健分野では、外国語・日本語併記の母子手帳の交付、乳幼児健康診査アンケートの外国語版（英語・中国語・タガログ語・ベトナム語・タイ語の5か国語）を作成しています。

また、教育分野では、多文化共生サポーターを入国後1年6か月間、必要に応じて県と市が小中学校に派遣しています。

医療分野では、119番通報および外国人のいる救急現場での活動時等にお

いて、電話通訳センターを介した三者間同時通訳での対応、スマートフォンを使用した多言語音声翻訳アプリを城崎分署救急隊に配備し、救急対応しています。外国人対応シートによる救急対応も行っています。

災害時の対応として、「豊岡市国際交流協会」「NPO法人にほんご豊岡あいうえお」と市が「災害時における市内の外国人への情報伝達に関する覚書」をそれぞれ締結し、市が提供した避難情報等をそれぞれが関係する市内の外国人へ伝えていきます。

【課題】

出産、子育て等においては言葉の壁や文化のちがいによるコミュニケーションの難しさがあり、乳幼児健診等での通訳の必要性、教育においては外国にルーツを持つ子どもの支援について、日本語教育の充実、母語・継承語(親の母語)、親の母文化教育等が必要です。また、子どもたちが学校以外の場で地域等とながらる場を増やしたり、困りごとを抱える外国人市民を専門機関につなぐ人や仕組みも必要です。

災害時における外国人支援体制の整備も課題となっています。

(3) 意識啓発と地域づくり

【取組み】

「NPO法人にほんご豊岡あいうえお」と市の共催で多文化共生セミナーを開催しています。

また、豊岡市国際交流協会、NPO法人にほんご豊岡あいうえおでは、広報誌やSNS等でそれぞれが実施する日本語教室やイベント等の周知を行っています。生活のことや新型コロナウイルスに関する相談窓口も担っています。

2019年度から神戸大学と共同で実施している「外国人住民に関する調査研究」において、多様な外国人市民の存在が明らかになりました。

【課題】

外国人市民のイメージの刷新、外国人市民が能力を発揮できる環境の整備、外国人市民支援ネットワークの構築等が課題です。

第3章 めざす姿と取組方針

1 めざす姿

「多様な人々が地域や職場の一員として活躍している」
長期目標を「多様な人々が地域や職場の一員として活躍している」と定め、計画期間中に「暮らしやすいと感じている外国人市民が増えている」状態をめざします。

2 取組方針

「暮らしやすいと感じている外国人市民が増えている」状態を達成するためには、ライフステージに応じた情報提供・継続的な支援と、外国人市民も活躍できるような取組が必要です。

- (1) 外国人市民が円滑にコミュニケーションをとっている【コミュニケーション支援】
外国人市民が増加傾向にあることから、さらに外国人支援団体と共に日本語及び日本文化を学ぶ機会の充実を進めます。

また、26の国と地域出身の方がいるため、外国人市民の母語にできるだけ対応できるよう、市役所窓口等において、多言語音声翻訳アプリ等を活用します。また、国籍の状況に応じた外国語と「やさしい日本語」を使用します。

さらに、外国人市民からの様々な相談をワンストップで受ける体制の整備と通訳者・相談員等の人材育成を進めます。

- (2) 外国人市民が安全・安心に暮らしている【生活支援】
外国人市民が安心して出産・子育てができるように、乳幼児健診等への通訳派遣、就学前施設等での多言語対応等を進めます。また、来日後の子どもへの日本語教育の充実を図るとともに、外国にルーツを持つ子どものアイデンティティが確立するように、母語・継承語（親の母語）教育等を実施します。

保健・医療・介護等のサービスについても、多言語等で周知するとともに、適切にサービスを利用できるように支援します。

就労については、働きやすい環境を整え、働きがいを感じられる職場となるよう、事業所等との連携を図ります。

また、災害時においては外国人市民への情報伝達等が課題となっているため、災害時の外国人支援体制の整備等を検討するとともに、平常時から防災知識の周知や避難訓練等への参加等を促していきます。

- (3) 外国人市民が地域活動に参画している【意識啓発と地域づくり】
外国人市民と日本人市民がお互いの文化的ちがいを認め合えるように、意識啓発や地域との交流を進めます。
また、外国人市民が気軽に集まれる居場所と出番を創出します。
さらに、外国人市民の主体的な活動を支援するとともに、外国人人材を発掘し、その能力を発揮できるような機会の創出を進めます。



とよおかしこくさいこうりゅうきょうかい 「豊岡モンゴルカフェ」



とよおかしこくさいこうりゅうきょうかい 「みんなの日本語 中級」内の茶道体験

第4章 具体的な取り組み

1 戦略体系図

ちようきもくひよう 長期目標	たよう ひとひと ちいき しょくば いちいん かつやく 多様な人々が地域や職場の一員として活躍している
せんりやくもくてき 戦略目的	く 暮らしやすいと感じている がいこくじんしみん ふ 暮らしやすいと感じている外国人市民が増えている
しゅようしゅだん 主要手段01	がいこくじんしみん えんかつ 外国人市民が円滑にコミュニケーションをとっている 【コミュニケーション支援 ^{しえん} 】
01-01	ぎょうせいじょうほう せいかつじょうほう つた 行政情報・生活情報が伝わっている
01-02	がいこくじんしみん そうだん 外国人市民の相談をワンストップで受ける体制がとれている
01-03	にほんご まな きかい ふ 日本語を学ぶ機会が増えている
しゅようしゅだん 主要手段02	がいこくじんしみん あんぜん あんしん く 外国人市民が安全・安心に暮らしている 【生活支援 ^{せいかつしえん} 】
02-01	がいこく ルーツを持つ子どもへの教育支援が充実している
02-02	あんしん しゅっさん こそだ 安心して出産、子育てができている
02-03	あんしん いりよう かいご う 安心して医療・介護サービスを受けている
02-04	はたら かんきょう ととの はたら かん ひと ふ 働きやすい環境が整い、働きがいを感じる人が増えている
02-05	いどうしゅだん かくほ 移動手段が確保されている
02-06	じゅうたく かくほ 住宅が確保されている
02-07	さいがいどう そな 災害等への備えができている
しゅようしゅだん 主要手段03	がいこくじんしみん ちいきかつどう さんかく 外国人市民が地域活動に参画している 【意識啓発と地域づくり ^{いしきけいはつ ちいき} 】
03-01	たが ぶんか せいかつしゅうかん みと あ お互いの文化、生活習慣のちがいを認め合っている
03-02	きがる こうりゅう いばしょ きかい ふ 気軽に交流できる居場所や機会が増えている
03-03	ちいき ちく じゅうみん 地域、地区住民とつながりができている
03-04	がいこくじんしみん しゅたいてき かつどう 外国人市民が主体的に活動している
03-05	たぶんかきょうせい すいしん じんざい そだ 多文化共生を推進する人材が育っている
03-06	りゅうがくせい ちいき こうりゅう 留学生が地域と交流している

2 ライフステージに沿った施策の実施

乳幼児期 概ね5歳まで	子ども期 概ね6～14歳	青年期 概ね15～20代前半	成人期 概ね20代後半～64歳	老年期 概ね65歳以上
母子保健事業の充実 ▶乳幼児健診等での通訳等多言語対応	子どもの教育の充実 ▶入学説明会への通訳派遣 ▶母語教育の実施 ▶多文化共生サポーターの充実 ▶来日後の日本語教育の充実 ▶子どもたちが外国文化や学校文化を知る機会の充実 ▶学校から家庭へのスムーズな情報共有 ▶就学前、中途入学、進学時等の説明体制強化 ▶義務教育以降の若者へのサポート			高齢化への対応 ▶外国人高齢者の見守り強化 ▶多言語で介護支援を受けられる環境づくり
子育て支援の充実 ▶保育園・幼稚園等での多言語対応 ▶育児中の親が触れ合う場の提供			労働・居住環境の改善 ▶職場での日本語学習支援 ▶事業所支援（日本語教育、住居の紹介等） 技能実習生等への対応 ▶地域、他の事業所で働く人との交流促進	
			就業・起業の支援 ▶ハローワーク等での仕事の相談充実 ▶外国人の起業サポート ▶Uターンサポート	
防災対策の充実 ▶災害時における外国人支援体制（災害時多言語支援センター等）の整備検討 ▶防災情報の共有・防災知識を学ぶ機会の充実 ▶自主防災組織加入促進				
医療体制の充実 ▶消防本部三者間同時通訳サービス、救急多言語翻訳アプリの周知				
コミュニケーション支援の充実 ▶ワンストップ相談窓口の設置検討 ▶日本語学習機会の充実 ▶市役所書類の多言語化（やさしい日本語含む）の推進 等				
多文化共生の意識啓発と地域づくり ▶広報等による外国人市民、外国文化・宗教の紹介 ▶交流事業等の開催 ▶地域の避難訓練等への外国人市民の参加促進 等				

3 豊岡市多文化共生推進プランに基づく事業・指標

ちょうきもくひょう 長期目標	たよう ひとひと ちいき しょくば いちいん かつやく 多様な人々が地域や職場の一員として活躍している	
せんりやくもくてき 戦略目的	く 暮らしやすいと感じている外国人市民が増えている	
し ひょう 指標		もくひょうち 目標値
がいこくせきし みん ねんていじゅうりつ 外国籍市民の5年定住率		きじゅんち 基準値 40.5% (2020年度)
		45.0% (2025年度)

しゅようしゅだん 主要手段 01	がいこくじんし みん えんかつ 外国人市民が円滑にコミュニケーションをとっている 【コミュニケーション支援】	
し ひょう 指標		もくひょうち 目標値
がいこくじんし みん にほんごきょうしつ きんかにんすう 外国人市民の日本語教室への参加人数		きじゅんち 基準値 152人 (2020年度)
		250人 (2025年度)

ぐたいてきしゅだん 具体的手段	じ ぎょう 事業	すいしんしゅだん 推進主体
01-01 ぎょうせいじょうほう せいかつ 行政情報・生活 じょうほう つた 情報が伝わっている	しやくしよしよるい たげんごか にほんごめく 市役所書類の多言語化（やさしい日本語含む）	し 市
	たいしかん りょうじかんどう ほんやくしりよう かつよう 大使館・領事館等の翻訳資料の活用	し 市
	りびんぐガイド・防災ハンドブックの内容充実、 かんいばんさくせい 簡易版作成	し 市
	しやくしよ たげんごあんないひょうじ 市役所の多言語案内表示	し 市
	やさしい日本語による広報（ごみの分別、各種手続 き等）	し 市
	やさしい日本語教室の開催（市職員、市民対象）	し 市
	たげんごえいぞうつうやく たげんごおんせいほんやく 多言語映像通訳サービス、多言語音声翻訳アプリの しゅうち 周知	し 市
	し じぎょう つうやくはけん 市の事業への通訳派遣	し 市
	がいこくじんこようじぎょうしよ れんばい しやくしよない 外国人雇用事業所との連携（市役所内）	し 市
	せいかつじょうほう はいしん 生活情報のネット・SNS配信	し えんだんたい し 支援団体、市
	たげんごたいおう いんしよくてんどう さくせい 多言語対応できる飲食店等のステッカー作成	し えんだんたい 支援団体 ちいき 地域、市
01-02 がいこくじんし みん そうだん 外国人市民の相談 をワンストップで うける体制がとれ ている	そうだんまどぐち せっちけんどう ワンストップ相談窓口の設置検討	し 市
	つうやくしよ そうだんいんどうじんざい ほうくつ いくせい 通訳者、相談員等人材の発掘と育成	し えんだんたい 市、支援団体
	てんにゅう しゅつ し てつ 転入（出）時にワンストップですべての手続きを す 済ませることができる体制の検討（庁内連携）	し 市
01-03 にほんご まな しかい 日本語を学ぶ機会 がふえている	せいかつ じっしげんどう 生活オリエンテーションの実施検討	し えんだんたい し きぎょう 支援団体、市、企業
	にほんごがくしゅうきかい じゅうじつ 日本語学習機会の充実	し えんだんたい し 支援団体、市
	にほんごがくしゅう いくせい 日本語学習ボランティアの育成	し えんだんたい し 支援団体、市

しゅようしゅだん 主要手段 02	がいこくじんしみん あんぜん あんしん く 外国人市民が安全・安心に暮らしている		せいかつしえん 【生活支援】
し びょう 指 標	きじゅんち 基準値	もくひょうち 目標値	
がいこくごつうやく 外国語通訳ボランティアの人数	34人 (2021年度)	50人 (2025年度)	

ぐたいてきしゅだん 具体的手段	じ ぎょう 事 業	すいしんしゅたい 推進主体
02-01 がいこく 外国にルーツを持 つ子どもへの教育 支援が充実してい る	にゅうがくせつめいかいどう つうやくはけん 入学説明会等への通訳派遣	し 市
	たぶん かきようせい しゅうじつ 多文化共生サポーターの充実	し 市
	らいにちご にほんごきょういく しゅうじつ 来日後の日本語教育の充実	し がっこう 市、学校
	がっこう かてい しゅうほうきょうゆう 学校から家庭へのスムーズな情報共有	し がっこう 市、学校
	ぼご けいしやうご おや ぼご きょういく じっし 母語・継承語（親の母語）教育の実施	し しえんだんたい 市、支援団体
	こ がいこくぶんか がっこうぶんか し きかい 子どもたちが外国文化や学校文化を知る機会の 充実	がっこう 学校
	しゅうがくまえ ちゅうとにゅうがく しんがくしどう せつめいだいせいきょうか 就学前、中途入学、進学時等の説明体制強化	し がっこう 市、学校
02-02 あんしん しゅっさん こ 安心して出産、子 育てができてい る	がいこくご ぼしてちやうこうふ 外国語の母子手帳交付	し 市
	にゅうようじけんしんどう つうやくどうだげんごたいおう 乳幼児健診等での通訳等多言語対応	し 市
	びやういん たげんごたいおう にんぶけんしん しゅっさん びやうき とき 病院での多言語対応（妊婦健診、出産、病気の時）	いりようきかん 医療機関
	ほいくえん ようちえん にんてい えんどう たげんごたいおう 保育園・幼稚園・認定こども園等での多言語対応	し 市
	がいこくじんむ にほんりょうりきょうしつかいさい こ よう 外国人向けの日本料理教室開催（子ども用など）	ちいき しえんだんたい 地域、支援団体
02-03 あんしん いりよう 安心して医療・ 介護サービスを受 けている	いくじちゅう おやこ ふ あ ば ていきょう 育児中の親子が触れ合う場の提供	ちいき し 地域、市
	しょうほうほんぶさんしゃかんだうじつうやく きゅうきゅうたげんご 消防本部三者間同時通訳サービス、救急多言語	し 市
	ほんやく しゅうち 翻訳アプリの周知	し 市
	いりようきかん たげんごか しゅうじつ 医療機関の多言語化の充実	いりようきかん 医療機関
	つういんそうげいしえんけんどう 通院送迎支援検討	し 市
02-04 はたら かんきょう 働きやすい環境 が整い、働きが いを感じる人が増 えている	がいこくじんこうれいしゃ みまも きょうか 外国人高齢者の見守り強化	ちいき 地域
	たげんご かいごしえん う かんきょう 多言語で介護支援を受けられる環境づくり	し 市
	しよくば にほんごがくしゅうしえん 職場での日本語学習支援	きぎょう 企業
	じぎょうしよしえん にほんごきょういく しゅうきょ しょうかいどう 事業所支援（日本語教育、住居の紹介等）	し しえんだんたい 市、支援団体
02-05 いどうしゅだん かくほ 移動手段が確保さ れている	ハローワーク等での仕事の相談充実	ハローワーク
	がいこくじん きぎょう 外国人の起業サポート	し 市
	UI ターンのサポート	し 市
02-05 いどうしゅだん かくほ 移動手段が確保さ れている	こうきょうこうつうきかんの か あんない たげんごか か 公共交通機関の乗り換え案内（多言語化、ICT化）	し こうつうきかん 市、交通機関
	けんとう の検討	

ぐたいてきしゅだん 具体的手段	じ ぎょう 事業	すいしんしゅたい 推進主体
02-06 じゅうたく かくほ 住宅が確保されて いる	す じえん じょうほうていきょう 住まいの支援・情報提供 がいこくじん ちやうさけんきゅう 外国人シェアハウスの調査研究	し 市 し きぎょう 市、企業
02-07 さいがいとう そな 災害等への備えが できている	さいがいじ がいこくじんしえんたいせい さいがいじ たげんごしえん 災害時における外国人支援体制（災害時多言語支援 センター等）の検討 ぼうさいちしき まな きかい じゅうじつ ひなんくんれんとう さんが 防災知識を学ぶ機会の充実、避難訓練等への参加 そくしん 促進 がいこくじんしみん じしゅぼうさいそしきかにゆうそくしん 外国人市民の自主防災組織加入促進	し 市 し ちいき 市、地域 し ちいき 市、地域



とよおかしにこくさいこうりゅうきょうかい がいこくじん にほんごこうざ
豊岡市国際交流協会 「外国人にもわかりやすい やさしい日本語講座」

しゅようしゅだん 主要手段 03	がいこくじんしみん ちいきかつどう さんかく 外国人市民が地域活動に参画している	
	【いしきけいはつ ちいき 意識啓発と地域づくり】	
し びょう 指 標		きじゅんち 基準値
がいこくじんしみん ちいき ぎょうじ さんかく ぎょうせい 外国人市民が地域の行事に参画している行政		みけいそく 未計測
く およ ちいき かず 区及び地域コミュニティの数		ねんど (2021年度)
		もくひょうち 目標値
		きじゅんち ばい 基準値の2倍
		ねんど (2025年度)

ぐたいてきしゅだん 具体的手段	じ ぎょう 事 業	すいしんしゅだん 推進主体
03-01 たが ぶんか せい お互いの文化、生 かつしゅうかん 活 習 慣 のちがいを みと あ 認め合っている	がいこくじんしみん がいこくぶんか しゅうきょう しょうかい しこうほう だまへ 外国人市民、外国文化・宗教の紹介(市広報・出前講座等)	し しえんだんたい 市、支援団体
	がいこくじんしみん おし がいこくりょうりきょうしつ かいさい 外国人市民が教える外国料理教室の開催	ちいき 地域
	がいこくご としょ えほん よ せいび 外国語の図書・絵本が読めるコーナーの整備	し しえんだんたい 市、支援団体
	がいこくご はなしかい かいさい 外国語のお話会の開催	し しえんだんたい 市、支援団体
	ちいき こくざいりかいきょうしつ かいさい 地域での国際理解教室の開催	ちいき しえんだんたい 地域、支援団体
03-02 きがる こうりゅう 気軽に交 流 できる いばしょ きかい ふ 居場所や機会が増 えている	こそだ しえんそうごうきょてん こうりゅうじぎょうかいさい 子育て支援総合拠点での交 流 事業開催	し 市
	インターナショナルフェスティバル開催	しえんだんたい 支援団体
	げいじゅつぶん かかんこうせんもんしよくだいがく きょうさい げんどう 芸術文化観光専門 職 大学と共 催 イベントの検討	だいがく し 大学、市
	がいこくじんしみん がくせい どう こうりゅうじぎょう 外国人市民と学生ボランティア等との交 流 事業	しえんだんたい 支援団体
03-03 ちいき ちくじゅうみん 地域、地区住 民 と つながりができて いる	きがる あつだん かいさい 気軽に集まれて相談できる居場所づくり	だいがく し 大学、市
	ちいき し かい しょうしゅつ ちく こ かい 地域の仕組みを知る機会の創 出 (地区や子ども会 等)	しえんだんたい 支援団体
	がいこくじんこうじょうじぎょうしよ ちいき こうりゅうじぎょう 外国人雇用事業所と地域との交 流 事業	きぎょう ちいき 企業、地域
	ちいきぎょうじ さんかそくしん 地域行事への参加促進	ちいき 地域
	ひなんくんれんどう さんかそくしん ちょうふく 避難訓練等への参加促進 (重 複)	し ちいき 市、地域
03-04 がいこくじんしみん しゅたい 外国人市民が主体 的に活動している	がいこくじん いくせい 外国人ボランティアの育成	しえんだんたい 支援団体
	がいこくじんしみん だいがく ちいきとう こうぎ きかい しょうしゅつ 外国人市民が大学、地域等で講義する機会の創 出	だいがく し 大学、市
03-05 たぶん かきょうせい すいしん 多文化共 生 を推進 する人材が育って いる	つうやくしや そうだんいんとうじんざい はくくつ いくせい ちょうふく 通訳者、相談員等人材の発掘と育成 (重 複)	し しえんだんたい 市、支援団体
	しやくしよ がいこくじんしみん れんけい 市役所と外国人市民ネットワークとの連携	し しえんだんたい 市、支援団体
03-06 りゅうがくせい ちいき こう 留学生が地域と交 流 している	げいじゅつぶん かかんこうせんもんしよくだいがく れんけい 芸術文化観光専門 職 大学との連携	だいがく 大学
		ちいき し 地域、市

第5章 プランの推進に向けて

1 多文化共生推進主体の役割

主 体	役 割
とよおかし 豊岡市	市民に一番身近な基礎自治体として、外国人支援団体とともに、外国人市民及び日本人市民のニーズや顕在化しつつある地域の課題などの把握に努め、必要な支援を行うなど、多文化共生を推進する役割を果たしていきます。 また、博物館等が多文化共生・国際交流の場としての役割も担います。
外国人支援団体 (国際交流協会 NPO法人等)	本市の多文化共生推進の中核的な組織として、豊岡市と連携し、日本語教室、外国人の生活相談、多文化理解推進のためのイベントや文化紹介等を実施しています。今後も外国人市民のニーズを把握し、団体または個人として蓄積した知見や語学力等を活かした活動を行うことが期待されます。
ちいき 地域 (コミュニティ、 住民)	「国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的ちがいを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくこと」との多文化共生の本旨を理解し、お互いに理解をしていく努力が望まれます。
がっこう 学校 (小・中学校、 高等学校)	児童生徒が、言語や文化が異なる人々と互いに尊重し合い、主体的に協働できるよう、コミュニケーション能力を育成することが求められます。また、異文化理解を深め、多様性を受け入れる力を育てるとともに、豊かな国際感覚を身に付けるため、国際交流・国際理解教育の充実を図ります。
だいがく 大学	学生が外国人市民と交流する機会を持つとともに、広く優秀な外国人留学生を受け入れ、学業や地域社会への参加を支援することが望まれます。また、関係機関・団体と連携し、留学生が卒業後もその能力を活かして本市で活躍できるように、就職や起業を支援することが期待されます。
きぎょう 企業	外国人の雇用に際して、労働関係法令等を遵守し、適正な労働条件の確保、安全衛生の確保、保険の適用など必要な措置を講じる必要があります。また、雇用外国人及びその家族に対する日本語学習の支援に努めることが求められます。さらに、地域との交流など生活にかかる支援も望まれます。
いりょうきかん 医療機関	医療機関は、外国人市民が安心して医療サービスを受けられるように、多言語での対応や、文化・生活習慣等のちがいに配慮を行い、情報提供に努めていくことが期待されます。

2 関係機関等との連携・協働

関係機関やNPO法人等支援団体と連携し、協働して事業を進めます。

また、本プラン推進のため、「(仮称)多文化共生推進会議」の設置を検討するとともに、外国人市民の意見を聴く機会を持ちます。

3 市役所内での横断的な取組み

庁内の情報を共有し、連携して本プランを推進するため、関係課により構成する連絡会議を設置し、進捗状況の把握と事業推進を図ります。



にほんご豊岡あいうえお 授業後の会話風景



がいこくじんしゅみんからのいけんききと

しりょうへん 資料編

しりょう
資料1 在留資格一覧表

しりょう
資料2 豊岡市多文化共生推進プラン策定の経過

しりょう
資料3 豊岡市多文化共生推進プラン策定にかかるワーキング

グループ 構成員名簿

しりょう
資料4 多文化共生推進にかかる庁内検討委員会

しりょう
資料5 外国人住民に関する調査研究

（神戸大学との共同研究）

在留資格一覧表

就労が認められる在留資格（活動制限あり）

在留資格	該当例
外交	外国政府の大使、公使等及びその家族
公用	外国政府等の公務に従事する者及びその家族
教授	大学教授等
芸術	作曲家、画家、作家等
宗教	外国の宗教団体から派遣される宣教師等
報道	外国の報道機関の記者、カメラマン等
高度専門職	ポイント制による高度人材
経営・管理	企業等の経営者、管理者等
法律・会計業務	弁護士、公認会計士等
医療	医師、歯科医師、看護師等
研究	政府関係機関や企業等の研究者等
教育	高等学校、中学校等の語学教師等
技術・人文知識・国際業務	機械工学等の技術者等、通訳、デザイナー、語学講師等
企業内転勤	外国の事務所からの転勤者
介護	介護福祉士
興行	俳優、歌手、プロスポーツ選手等
技能	外国料理の調理師、スポーツ指導者等
特定技能（注１）	特定産業分野（注２）の各業務従事者
技能実習	技能実習生

（注１）平成31年4月1日から

（注２）介護、ビルクリーニング、素形材産業、産業機械製造業、電気・電子情報関係産業、建設、造船・船用工業、自動車整備、航空、宿泊、農業、漁業、飲食品製造業、外食業（平成30年12月25日閣議決定）

身分・地位に基づく在留資格（活動制限なし）

在留資格	該当例
永住者	永住許可を得た者
日本人の配偶者等	日本人の配偶者・実子・特別養子
永住者の配偶者等	永住者・特別永住者の配偶者、我が国で出生し引き続き在留している実子
定住者	日系3世、外国人配偶者の連れ子等

就労の可否は指定される活動によるもの

在留資格	該当例
特定活動	外交官等の家事使用人、ワーキングホリデー等

就労が認められない在留資格（※）

在留資格	該当例
文化活動	日本文化の研究者等
短期滞在	観光客、会議参加者等
留学	大学、専門学校、日本語学校等の学生
研修	研修生
家族滞在	就労資格等で在留する外国人の配偶者、子

※資格外活動許可を受けた場合は、一定の範囲内で就労が認められる。

とよおかした ぶん かきょうせいすいしん さくてい けいか
豊岡市多文化共生推進プラン策定の経過

ねんがっぴ 年月日	ない よう 内 容
ねん がつ にち 2019年4月1日～	がいこくじんじゅうみん かん ちょうさけんきゅう こうべだいがく きょうどうけんきゅう 外国人住民に関する調査研究（神戸大学との共同研究）
ねん がつ にち 2020年7月 8日	た ぶん かきょうせいすいしん ちょうないけんとういいんかい だい かい <u>多文化共生推進にかかる庁内検討委員会（第1回）</u> ねん どがいこくじんじゅうみん かん ちょうさけんきゅうけっか がいこくじん 2019年度外国人住民に関する調査研究結果、外国人 じゅうみん たい し しさく しえんないよう じょうほうきょうゆう 住民に対する市の施策・支援内容について情報共有・ いけんこうかん 意見交換
がっ にち 7月28日	た ぶん かきょうせいすいしん ちょうないけんとういいんかい だい かい <u>多文化共生推進にかかる庁内検討委員会（第2回）</u> かくふしょ かだいていしゅつ かだいせいり 各部署からの課題提出と課題整理（ワークショップ）
がっ にち 8月28日	た ぶん かきょうせいすいしん ちょうないけんとういいんかい だい かい <u>多文化共生推進にかかる庁内検討委員会（第3回）</u> た ぶん かきょうせいすいしん すがた かだいかいけつ む 多文化共生推進におけるめざす姿と課題解決に向けた とりく きょうぎ 取組みについて協議
がっ にち 9月28日	た ぶん かきょうせいすいしん ちょうないけんとういいんかい だい かい <u>多文化共生推進にかかる庁内検討委員会（第4回）</u> た ぶん かきょうせいすいしん ぐたいてきじょう きょうぎ 多文化共生推進のための具体的事業について協議
がっ にち 12月 5日	とよおかした ぶん かきょうせいすいしん さくてい <u>豊岡市多文化共生推進プラン策定にかかるワーキンググ ループ（第1回）</u> た ぶん かきょうせいすいしん とよおかし げんじょう かだい きょうゆう 多文化共生推進にかかる豊岡市の現状と課題の共有・ いけんこうかん 意見交換
ねん がつ にち 2021年3月13日	とよおかした ぶん かきょうせいすいしん さくてい <u>豊岡市多文化共生推進プラン策定にかかるワーキンググ ループ（第2回）</u> た ぶん かきょうせいすいしん とりく ぐたいてき いかん 多文化共生推進のための取組み（具体策）について意見 こうかん 交換（ワークショップ）
がっ にち 5月 8日	とよおかした ぶん かきょうせいすいしん さくてい <u>豊岡市多文化共生推進プラン策定にかかるワーキンググ ループ（第3回）</u> た ぶん かきょうせいすいしん そあん ぐたいてきとりく せんりやくたい 多文化共生推進プラン素案の具体的取組み（戦略体 けいす いけんこうかん 系図）について意見交換 じちたいこくさいかきょうかいちいきこくさいかすいしん 自治体国際化協会地域国際化推進アドバイザーからの じょげん 助言
がっ にち 6月 4日	た ぶん かきょうせいすいしん ちょうないけんとういいんかい だい かい <u>多文化共生推進にかかる庁内検討委員会（第5回）</u> た ぶん かきょうせいすいしん そあん ぐたいてきとりく せんりやくたい 多文化共生推進プラン素案の具体的取組み（戦略体 けいす きょうぎ 系図）について協議

ねんがっぴ 年月日	ない よう 内 容
6月26日	とよおかした ぶん かきょうせいすいしん さくてい 豊岡市多文化共生推進プラン策定にかかるワーキンググループ（第4回） た ぶん かきょうせいすいしん そあん いけんこうかん 多文化共生推進プラン（素案）について意見交換
6月30日～8月23日	かんけいきかんとう かい 関係機関等へのヒアリング
7月26日	た ぶん かきょうせいすいしん ちょうないけんとういんかい だい かい 多文化共生推進にかかる庁内検討委員会（第6回） かんけいきかんとう いけん ぶん そあん いけん 関係機関等の意見を踏まえたプラン（素案）について意見交換
9月3日～17日	パブリックコメント
9月	さくてい 策定



とよおかした ぶん かきょうせいすいしん さくてい
豊岡市多文化共生推進プラン策定にかかるワーキンググループ

とよおかしたぶんかきょうせいすいしん さくてい
豊岡市多文化共生推進プラン策定にかかるワーキンググループ 構成員名簿
(順不同、敬称略)

し めい 氏 名	しよぞくとう 所属等
いながき もえ 稲垣 萌	がいこくじんしみん 外国人市民
おおた エレーナ	がいこくじんしみん 外国人市民
きたむら レニー	がいこくじんしみん 外国人市民
ジャルガルサイハン ラマー	がいこくじんしみん 外国人市民
みやけ きよこ 三宅 清子	がいこくじんしみん 外国人市民
みやむら モナソン	がいこくじんしみん 外国人市民
いなば こうすけ 稲葉 康介	とよおかしこくさいこうりゅうきょうかい し む きょくちょう 豊岡市国際交流協会 事務局長
きした たかこ 岸田 尚子	ほうじん とよおか NPO法人にほんご豊岡あいうえお たぶんかきょうせい 多文化共生マネージャー
ささき たすく 佐々木 祐	こうべだいがくだいがくいんじんぶんがくけんきゅうか じゅんきょうじゅ 神戸大学大学院人文学研究科 准教授

ちいきこくさいかすいしん いっぱんざいだんほうじん しちたいこくさいかきょうかいはけんじきょう
※地域国際化推進アドバイザー（一般財団法人 自治体国際化協会派遣事業）
(敬称略)

し めい 氏 名	しよぞくとう 所属等
たむら たろう 田村 太郎	いちざい けんきゅうしよ だいひょうりし (一財)ダイバーシティ研究所 代表理事

※協 力 いただいた方

(順 不 同、 敬 称 略)

氏 名	所 属 等
マンディラ サプコタ	外国人市民
久木田 里奈	豊岡市国際交 流 協 会
植村 健二	NPO法人にほんご豊岡あいうえお 理事長
近藤 厚子	NPO法人にほんご豊岡あいうえお
卯野 敦子	NPO法人にほんご豊岡あいうえお
勝間 良枝	NPO法人にほんご豊岡あいうえお
白鳥 義彦	神戸大学大学院人文学研究科 教授
平井 晶子	神戸大学大学院人文学研究科 教授
小林 和美	大阪教 育 大 学 教授
奥井 亜紗子	京都女子大学 准 教 授
齊藤 優	神戸大学大学院生
許 青青	神戸大学大学院生
中原 信貴	豊岡市地域おこし協 力 隊

しりょう
資料4

たぶんかきょうせいすいしん ちょうないけんとういんかい
多文化共生推進にかかる庁内検討委員会

いいん
《委員》

せいさくちょうせいふひしよこうほうか せいさくちょうせいふぼうさいか しみんせいかつふし みんか
政策調整部秘書広報課、政策調整部防災課、市民生活部市民課、
きのさきしんこうきょくし みんふくしか けんこうふくし ぶんこうぞうしんか かんきょうけいざいふかんきょうけいざいか
城崎振興局市民福祉課、健康福祉部健康増進課、環境経済部環境経済課、
きょういくいいんかい きょういくか きょういくいいんかい いくせいか しょうぼうほんふとよおかしょうぼうしよ
教育委員会こども教育課、教育委員会こども育成課、消防本部豊岡消防署、
しょうぼうほんふとよおかしょうぼうしよきのさきぶんしよ
消防本部豊岡消防署城崎分署

じむきょく
《事務局》

せいさくちょうせいふせいさくちょうせい
政策調整部政策調整課

しりょう
資料5

がいこくじんじゅうみん かん ちょうさけんきゅう こうべだいがく きょうどうけんきゅう
外国人住民に関する調査研究（神戸大学との共同研究）

1 ちょうさきかん
調査期間

ねん がつ ねん がつ よてい
2019年4月～2021年12月（予定）

2 ちょうさないよう
調査内容

(1) ねん ちょうさ
2019年度調査

がいこくじんじゅうみん さいいじょう けん しな いじぎょうしよ けん ちょうさ
外国人住民（18歳以上、702件）と市内事業所（1,642件）へアンケート調査
じっし を実施するとともに、がいこくじんじゅうみん じぎょうしよ かんけいしゃとう ちょうさ じっし
を実施した。

(2) ねん ちょうさ
2020～2021年度調査

ねん かいこく も こ しょうてん あ ちょうさ
2020年度からは外国にルーツを持つ子どもに焦点を当てて、さらに調査、
けんきゅう すす しりつしょうちゅうがっこう ほうかごじどう けん かんけいぶく だんたい けん
研究を進めた。市立小中学校、放課後児童クラブ20件、関係部局・団体6件
き と おこな
に聴き取りを行った。

3 ちょうさけつが
調査結果

けいさい
ホームページに掲載

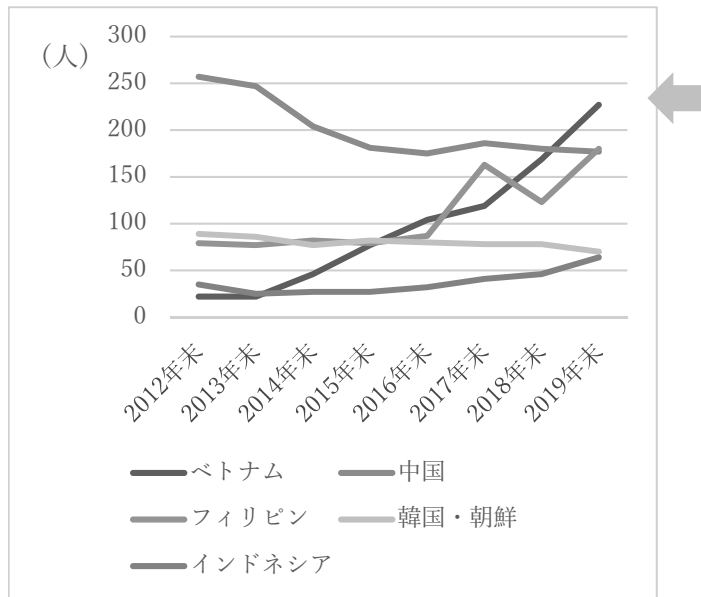
URL : <https://www.city.toyooka.lg.jp/kurashi/foreign/index.html>

ねん かいこくじんじゅうみん かん ちょうさけんきゅう じぎょうほうこくしよ がいようばん
※2019年度「外国人住民に関する調査研究」事業報告書（概要版）は、
じ ぺーじ けいさい
次頁に掲載

2019 年度「外国人住民に関する調査研究」事業報告書（概要）

（豊岡市・神戸大学共同研究）

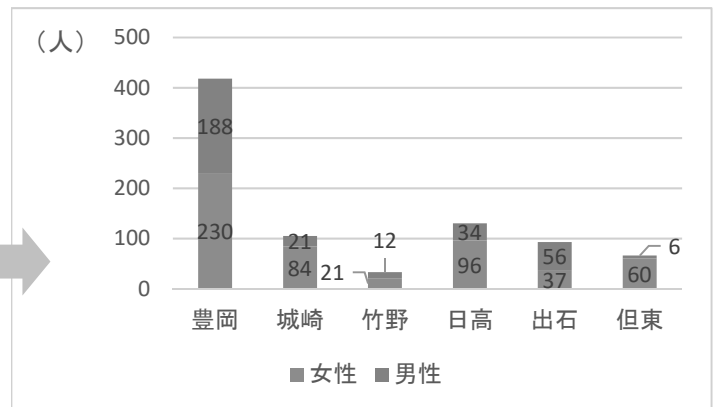
豊岡市の外国人住民数上位 5 カ国の推移（住民基本台帳）



豊岡市の外国人住民の現在

10 年の変化 市の外国人住民は、2009 年末の 653 人から、2019 年末の 845 人へと、10 年間で約 1.3 倍に増加し、人口の 1% を占める（全国では、総人口の 2.2%）。韓国・朝鮮や中国など東北アジア出身者が減少するが、一方でベトナム、フィリピン、インドネシアなど、東南アジア出身者が増加している。

地域別外国人住民数（住民基本台帳 2019 年 12 月末）



外国人住民の居住地域 人口の集中する豊岡だけでなく、城崎、日高、出石にも 100 人単位で住む。城崎、日高、但東では女性の割合が非常に高い。竹野は少ないが、城崎温泉との繋がりもあり、インバウンドの観光客が年間 1,000 人程度に増加している。

多様な在留資格・国籍 外国人住民を大きく区分すると、●技能実習生など、特定の職業や活動のため、1 年～数年単位の期限で日本に住む人々と、●永住、定住などの資格をもち、長期に（または期限なく）日本に住むことが可能で、職業も選択できる人々がいる。

ここでは、前者を「外国人住民（短期）」、後者を「外国人住民（長期）」として捉え、「課題探索」視点から両者を総合的に考察する。市で近年増加するのは、外国人住民（短期）である。非アジア系住民も（短期）・（長期）の双方にいるが、数は少ない。

豊岡市の国籍・在留資格タイプ別外国人住民数（住民基本台帳 2019 年 11 月 30 日）

	外国人住民（短期）				外国人住民（長期）			小計
	教育・専門職等	技能実習	特定活動・留学等	家族滞在	永住者・配偶者	定住者	特別永住	
ベトナム	21	183	12	2	14	0	0	232
中国	17	88	8	6	58	8	0	185
フィリピン	2	7	2	0	97	54	0	162
韓国・朝鮮	2	0	0	1	5	0	62	70
インドネシア	0	54	10	0	2	0	0	66
台湾	10	0	18	0	2	0	0	30
タイ	0	23	0	0	6	0	0	29
北米	9	0	0	2	4	0	0	15
中南米	1	0	0	0	4	2	0	7
豪州地域	3	0	0	0	3	0	0	6
ヨーロッパ	3	0	0	0	2	0	0	5
その他アジア	9	0	4	9	2	0	0	24
小計	77	355	54	20	199	64	62	831

注）数字の単位は、「人」。

外国人住民：（短期）と（長期）

質問紙調査（郵送）の結果 18才以上のすべての外国人住民（702人）へ配布し（2019年6月）、272人（40%弱）分を回収できた。以下は、性別が「無回答」などの場合を除く、264人分の集計結果である。

	外国人住民（短期）180人	外国人住民（長期）84人
性別	おおよそ半々で、女性がすこし多い	女性が7割
年齢	20代：（男）8.5割・（女）7割	すべての世代にわたる
豊岡市にきたきっかけ	技能習得：（男）（女）8割	（女）結婚：6割 （男）技能習得：4割
豊岡市での居住期間	3年未満：（男）8割・（女）9.5割	（女）10年以上：5割 （男）3年未満：6割
世帯のかたち	友人や同僚と同居：（男）9.5割・（女）8割	（女）家族と同居：8割 （男）単身：3.5割
日本語の力	日常会話＋できない：（男）7割・（女）5.5割	（女）日本人並に会話＋それ以上：5割
地域自治会への参加	参加している：（男）3割・（女）1.5割	（女）参加：5割 （男）不参加：7割
地域情報の入手経路	①職場の同僚 ②インターネット ③同国人	①職場の同僚 ②近隣住民 ③同国人
日本人の友人	いない：（男）4.5割・（女）5割	いる＋たくさんいる：（女）（男）8割程度
豊岡市の住みやすさ	住みやすい＋とても——：（男）9割・（女）8割	住みやすい＋とても——：（女）（男）8割
豊岡市での今後の居住予定	3年以上：（男）（女）2割程度	（女）10年以上：3.5割 （男）わからない：4割
就業上の地位	技能実習：（男）（女）7割	（女）パートなど：4割 （男）契約社員：5割
職場への不満	①給料 ②居住環境 ③日本語学習	①給料 ②労働時間 ③日本語学習（男性では①）
母国の家族への仕送り	している：（男）7.5割・（女）6.5割	している：（女）5.5割・（男）4.5割

事業所の外国人雇用

質問紙調査（郵送など）の結果 市内の1,640事業所へ配布し（2019年5月）、327ヶ所（約20%）から回収できた。内「外国人従業員あり」は40ヶ所であった。返送のなかった事業所は、雇用者がいない（個人商店等）などと推察される。

外国人従業員雇用の有無

地域	雇用【実数（%）】	
	あり	なし
豊岡	22(55.0)	108(37.6)
城崎	7(17.5)	44(15.3)
竹野	2(5.0)	20(7.0)
日高	2(5.0)	54(18.8)
出石	2(5.0)	37(12.9)
但東	2(5.0)	15(5.2)
複数	2(5.0)	6(2.1)
不明	1(2.5)	2(0.7)
合計	40(100)	287(100)

外国人従業員のいる事業所（40ヶ所）

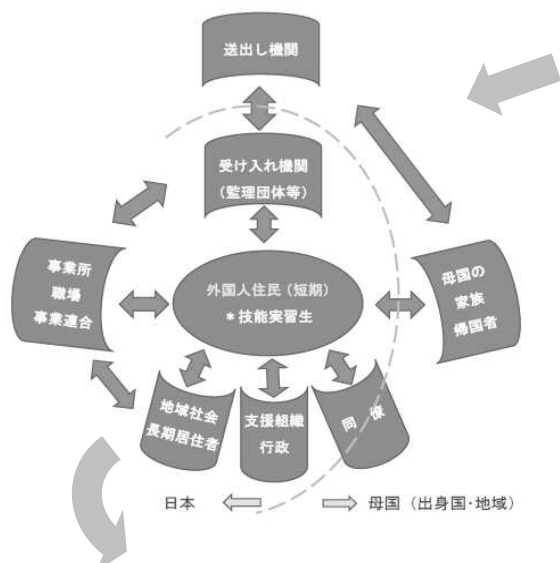
事業所の従業員総数	20人以上：5割 100人以上：1割
事業所の業種	漁業、製造業（食品除く）、宿泊業が多い
外国人の出身国	①ベトナム ②フィリピン ③インドネシア
外国人雇用開始時期	漁業：10以上前から それ以外：大半が10年以内
外国人の雇用形態	技能実習：6割、正社員・パート：各2割、インターン：1.5割
外国人の勤務	日「4～8時間」：6.5割 週「5日以上」：6割
外国人の福利厚生	住居、医療・保険、社内行事・活動：各7割
外国人の採用ルート	監理団体：5割 仲介業者：3割弱 ハローワーク：2割弱
外国人雇用の理由	人手不足：8.5割
外国人への満足度	非常に高い … 満足：4.5割 ほぼ満足：5割
今後の外国人雇用予定	数を増やし雇用：3割 現状程度の雇用継続：5割
外国人雇用への支援策	（自由回答）日本語教育、住居の整備・確保、交通手段の整備・確保、行政手続きの支援、外国人相互交流の場の構築

外国人従業員のいない事業所（287ヶ所）

事業所の従業員総数	1～4人が4割以上
人手不足の実感	建設と医療福祉：各7割 その他の業種：4～5割
今後の外国人雇用予定	人手不足感のある事業所でも、「予定なし」が8割
雇用していない理由	雇用の意志なし：3割 受入体制の未整備：1割
外国人雇用への支援策	支援が必要：5割 「採用予定なし」でも、4.5割が必要（自由回答）日本語・日本文化習得、住環境、受入体制など

外国人住民（短期）の考察

技能実習生をめぐるネットワーク



技能実習生 市の外国人住民（短期）の大半は技能実習生である。ベトナム人、中国人、インドネシア人、タイ人などが多い。雇用される事業所で働き、通常は同僚の実習生と共に生活を送るが、図のように、全体的には幅広いネットワークのなかに置かれている。それにもとづき、市に住む実習生の姿を簡単に要約すると、表のようになる。個別にみれば、相互の関係や連携が良好・円滑な面があれば、必ずしもそうでない面もある。技能実習生が充実した日々を豊岡市で送れるように、ネットワークのなかの組織や集団の協力や支援が一層求められる。

「孤立型」からの脱却 また「事業所内交流型」（実習生を企業内の行事に参加させる）や「地域交流型」（実習生を地域行事等に参加させる）のように、技能実習生と日本人等との交流や繋がりが重視されるケースがあるが、一方で両者の結びつきが弱い「孤立型」も一部にみられる。改善の取組が必要であろう。

豊岡市の技能実習生の実際	母国	日本
事業所→（監理団体）→実習生	採用過程を監理団体に任せるのではなく、自ら現地面接への参加、教育環境の確認、家庭訪問の実施 中国における人材獲得の困難化	〔日本語〕通訳の利用、日本語学習の奨励 〔住居〕寮の設置、アパート等の借り上げ 〔生活環境〕ゴミ問題への対応、交通手段の確保、インターネット環境の整備
実習生→（送出し機関）→事業所	日本での成功談情報の獲得 送出し機関（日本語学校を含む）への諸費用の支払い	最低賃金ベースの給与のため、残業の希望 一部に不規則な勤務形態（交代制、季節性など） 休日等の有効活用（レジャーや旅行）の難しさ
実習生－母国の家族	帰国後の支援、自身の起業・結婚	定期的な仕送り、SNS 等による連絡
実習生－支援組織（NPO など）	—————	日本語の学習、日本人等との交流
実習生－地域社会	—————	豊岡市の肯定的評価（安全、環境）、災害への不安

外国人住民（短期）の多様性 豊岡市では、技能実習生以外の外国人住民（短期）も働いている。特にインターンシップ生が一部の業種で増加している。また、より専門的職種に就く人々として、数は少ないが、ALT（外国語指導助手）、CIR（国際交流員）、EPA 介護福祉士候補者、スポーツトレーナーなどもある。今後、多様な資格の外国人住民（短期）をさらに増やすことが、外国人被雇用者自身にとって、また地域社会の活性化にとっても望ましいであろう。現在、外国人住民（長期も含む）が働く業種は多岐にわたるが、主な業種での状況は以下のとおりである。

（製造〔機械、化学など〕）規模の大きい事業所が他業種に比べて多い。仕事は生産ラインでの作業のため、交代制勤務が多い。技能実習生の過半は寮生活である。定住者（日系人）の働く事業所もある。

（観光宿泊）まちづくり機関を通じたインターンシップ生の採用が進み、その国籍は多様である。また通訳を兼ねる人、高度職業人材に相当する人などいる。キャリアパスを意識して働く外国人が多い。

（医療・福祉〔介護など〕）人数は相対的に少ないが、今後増加する可能性がある。多様な資格の外国人が働く。職場は高齢者介護施設のため、日本語能力や専門性が要求され、人材の確保は容易ではない。

（地場産業など）漁業（津居山地区）、靴、食品加工である。漁業では、インドネシア人青年が、乗る船を超えた共同生活を送る。靴や食品加工では、技能実習生とともに結婚移住女性も多く、両者の交流がある。

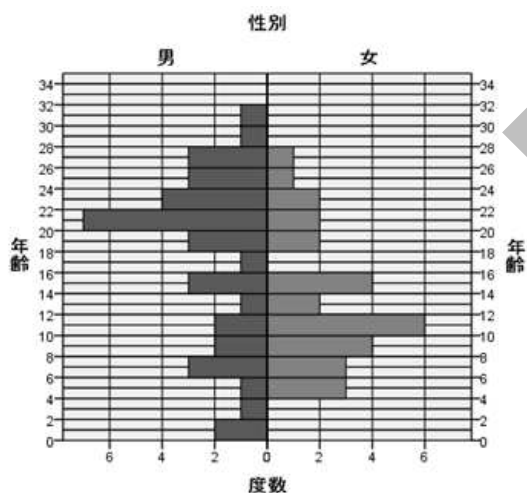
外国人住民（長期）の考察

「旧世代」と「新世代」 ニューカマーの外国人住民（長期）には、「旧世代」と「新世代」が存在する。前者は主に国際結婚による移住者（ほとんどは女性）である。日本人配偶者、子ども、場合により配偶者の親と同居しながら、市内に10年以上住む定着度の高い人々である。後者は、約5年以内に、国際結婚に限らず多様な契機で市内に移住した人々で、全体として流動性が高く、市外への転出の可能性も高い。

世代別にみた特徴

	旧世代	新世代
豊岡市居住期間	10年以上	5年未満
人数	27名	34名
割合	38.0	47.9
性別	ほぼ全員女性	男性4割（44.1）
他地域居住経験	直接豊岡に来る	他地域から転入
豊岡市に来た経緯	国際結婚	多様
ビザの種類	「永住者」	「定住者」ほか
定着／流動	定着	流動

子どもの性別・年齢別構成



外国人の子どもたち 質問紙調査では、外国人住民の子ども（日本居住者）についても調べた。該当者は大部分が外国人住民（長期）の子どもであり、ニューカマーでは、年齢が20歳代から幼児まで多世代にわたり（グラフ）、国籍により日本語能力に差があるなどしている。また、外国人の親（母親）と学校との連携には改善すべき点があるが、一方で親たちは、子どもを育てる場として日本を信頼している。

出身国・地域ごとの特徴 外国人住民（長期）には多様な国籍の人々が含まれるが、アジア系の比重が非常に高い。主には中国人、フィリピン人、韓国・朝鮮人、ベトナム人である。近年は日系フィリピン人の移住が急増して、フィリピン国籍者数がトップになっている。

（中国人）ほとんどが日本人と結婚した女性で、「旧世代」と「新世代」に属す。技能実習で来日後に結婚、中国の大都市で日本人と出会って結婚など経路は多様。中国式教育への評価も高い。

（その他のアジア系）オールドカマーの韓国・朝鮮人は、配偶者選択を含めて日本人と強く繋がる。ベトナム人女性等は農村部に結婚移住し、子育て中。アジア系高学歴女性の結婚移住もある。

（フィリピン人）女性の多くは「旧世代」で、豊岡市の国際結婚をリードし、地元で就労や子育てをする。男性の大半は「新世代」の日系フィリピン人である。工場で働くが、妻子帯同（予定も含む）者もいる。

（非アジア系）50人を超える日系ブラジル人が約20年前に工場等で働いていたが、今はほとんどいない。欧米系住民（長期）も一定数住むが、多くは日本人との国際結婚である。男性の結婚移住者も相当数ある。

「小さな世界都市 - Local & Global City-」の政策課題

◎共同研究による外国人住民イメージの刷新⇒政策課題の展開へ進める

（短期）経済的動機だけでなく、「自己実現」的動機で来豊した人も相当数ある

高齢化の進む地方社会に生きる「今時の若者」として向きあう

（長期）多様な文化的背景・語学能力をもつグローバル人材だが、活用が不十分

各自が能力を能動的に発揮できる環境を整備し、定住化を促進

◎共同研究における繋がりや情報共有の経験⇒実践的な取組の展開へ進める

市内の組織（行政、企業、団体、NPO等）・個人と大学が調査遂行のために協力・連携

<小さな世界都市>型「外国人住民支援ネットワーク」の構築



とよおかしたぶんかきょうせいすいしん
豊岡市多文化共生推進プラン

ねん がつ
2021年 9月

とよおかしせいさくちやうせいふせいさくちやうせいか
豊岡市政策調整部政策調整課

とよおかしちやうおうまち ばん ごう
〒668-8666 豊岡市中央町2番4号

だいひやう
TEL : 0796-23-1111 (代表)

FAX : 0796-24-5932

URL : <https://www.city.toyooka.lg.jp>